

## はじめに

2月21日に帰国し、この月例報告書は日本で書いています。帰国から1週間が経ちましたが、生まれ育った日本に馴染むのは一瞬で、まるで8ヶ月のオーストラリア留学が嘘だったかのように感じるほどです。私の最終月について紹介します。



ずっと会いたかったパンダコアラ

## Summer Term

最後のTermでは、New Venture Creationという科目を履修しました。大きな課題として、グループプレゼンがありました。グループで一つ、新規事業を提案し、パワーポイントを作成、スライドに合わせてビデオを録画するというものでした。グループでの作業は、対面で進めていくことを想像していましたが、全てオンラインで行われました。3人チームだったのですが、1人のメンバーの顔は、録画されたビデオで知りました。チームにもいろいろな形があることを知りました。オンラインで課題を進めるという、今時な経験ができて面白かったです。

## See youと言ってまわる日々

帰国が近づき、またねと言ってまわる日々が続きました。友人に別れを告げていく中で、徐々に帰国の実感が湧いてきました。

以前、友人のお別れ会が開かれた場所で、自分のお別れ会を開きました。私のオーストラリアでの生活を豊かに、私自身を成長させてくれた大切な仲間です。お別れはさびしいですが、みんなからの愛あふれる言葉をもらえるため、好きです。きっとまたどこかで会うだろうな、と思っていることもあり、悲しくなかったです。

ホストファミリーがお別れのディナーに、Surf Clubへ連れていってくれました。当たり前ですが、もう2度と一緒に暮らすことはないのだなあと思いました。嬉しいことに、彼らは今年の9月に日本へ遊びに来ます。また会える日が楽しみです。

そして、もう一つ私がまたねと言わなければならない場所があります。Currumbin Wildlife Sanctuaryです。半年間、Park Volunteerとして毎週月曜日の午前に活動していました。私の祖父母と変わらない年齢のおじいちゃん、おばあちゃんとお友達になり、孫のようにかわいってもらいました。また会える日まで、元気に長生きしてほしいです。



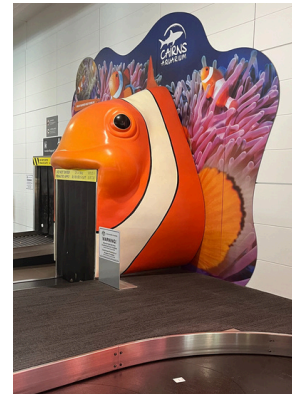
## 帰国までにしたかったこと

帰国までにしたかった、コアラ抱っこをしました。また、ボランティア中にお世話になった、カメラマンさんに撮ってもらう夢を掲げていました。左の写真は、私の夢が叶った1枚です。コアラは、思ったよりも重たく、ユーカリの匂いが鼻につんとききました。抱き終わった後の幸福度は素晴らしかったです。心が満たされていく感じがしました。クイーンズランド州は、唯一コアラが抱ける州です。ぜひ、みなさんにもこの幸福を味わって欲しいです。

ちなみに、私の着ている黄色いシャツは、ボランティア時に着用するユニフォームです。コアラで隠れていますが、カンガルーがプリントされたシャツです。

## 最後の最後に・・・

ゴールドコースト空港からケアンズ空港を経由し、関西空港へ帰ってきました。乗り継ぎは自己責任であるため、手荷物の預け入れを2回する必要があります。なんと、ケアンズで車輪が一個ない状態で出てきました。どうやら、ニモに食べられてしまったようです。こういったトラブルも、驚かなくなりました。ジェットスターのカウンターで損害証明書をもらいました。結局、ジェットスターの保険ではなく、大学の紹介で入った、OSSMAの保険を使う方向にしましたが、何かが起こった時に冷静に対処する力は留学を通して、培われたのかもしれない。



## 8ヶ月ぶりの日本

戻ってくる場所があること、「おかえり」と言ってくれる人がいること、自分がいかに恵まれているか、愛されているかを実感しました。この1週間で、中学・高校・大学の友人に再会しました。やはり、大好きな人と食べるご飯ほど美味しいものはありません。待ち望んでいた、日本食はとても美味しかったです。家族や友人と過ごす時間をより大切にしたいと思ったのは、留学を通して家族や友人から離れて生活したことも理由として挙げられますが、それ以上に家族や友人との時間を大切にするオーストラリアの文化に触れたからだと思います。

同時に、オーストラリアが私のいつでも戻っていい場所となりました。帰国が近づいたある日、ホストマザーに「Australia is always here. You are always welcome.」と言ってもらいました。これから生きていく中で、日本以外にも帰る場所があること、自分が自分らしくいられる場所があることを知っていることは、とても心強いことだと思います。また笑顔で帰れる日まで、楽しく生きていこうと思います。

## 私の留学は成功したのか

何を持って、留学が成功したと言えるかを考えてみました。私は、オージーのライフスタイルを暮らしに導入できた点において、成功したと思います。朝5時に起床し、朝日を見にビーチへ行ったり、ランニングをしたりします。友人と散歩をしたり、コーヒーを楽しんだり、朝を有効に使っている人が多い印象でした。帰国した今、日本でもランニングを続けています。海が身近にあった生活が恋しく、海まで走っています。海はオーストラリアまで繋がっているのだなあとと思うと、心が落ち着きます。自分が自分らしくいられるための方法を知れたこと・習慣を作れたことが、これからの私の人生を支えてくれると思います。この朝を有効に使う文化を友人にも広げていきたいです。



オーストラリアの海と日本の海

次に、自分の想いを相手に伝える力がついたことです。これは、出会った人が私にたくさんのBeautifulやGorgeous、Kindといった言葉をくれたからです。私がどんな人間であるのか、みんな言葉にして伝えてくれました。日本では、改まって言うことに躊躇ったり、恥ずかしさを覚えたりするかもしれませんが、自分が家族や友人のどんな面に助けられているのか、どんなところが好きなのか、これから言葉にして伝えていきたいです。



## 終わりに

8ヶ月間ありがとうございました。私の月例報告書を通して、留学もしくはオーストラリアに興味を持ってくれた方がいたのなら、嬉しい限りです。4月からは、大学4年生として復帰する予定です。留学に関して聞きたいこと・質問があったら、報告書に載っている私の顔写真を覚えて、ぜひ話しかけてください。お話ししましょう！

私自身、これから留学を考えている人の力になれば嬉しいし、先輩が卒業、同期が留学・・・と、新しいお友達ができたらいいな、とも思っています。みなさんの8ヶ月についても聞かせてください！)